

# 葛野だより

## 特別号

京都市立葛野小学校  
令和 6年2月29日  
校長 大八木 智之

〒615-0882

京都市右京区西京極葛野町 2

TEL:075-311-3510

FAX:075-311-3557



学校 HP へは  
こちらから

令和5年度後期学校評価を実施しました。保護者・地域の皆様、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

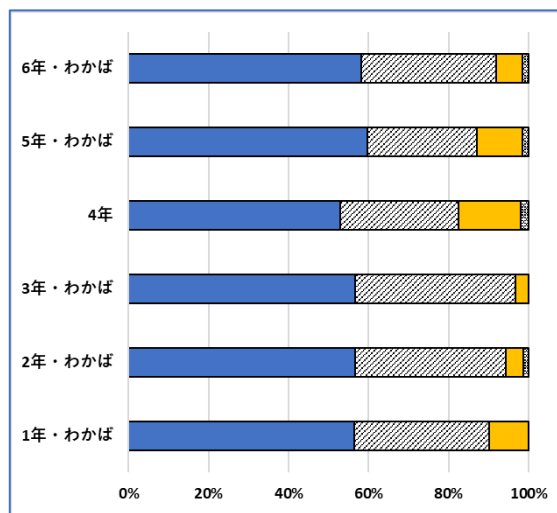
結果を分析・検討し、「今後の展望」としてまとめさせていただきました。ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思ひます。

### 『子どもたちが明日の登校を楽しみにする学校』において

#### 【保護者アンケート結果】

■よくあてはまる □ややあてはまる  
■あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

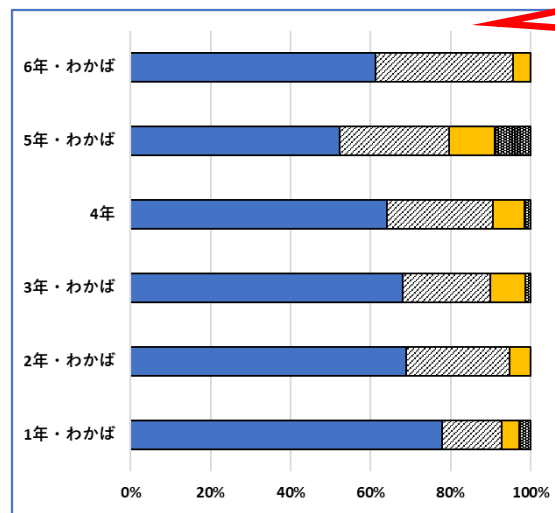
○楽しく学校に通っている。



#### 【児童アンケート結果】

■できている □だいたいできている  
■あまりできていない □できていない

○毎日、楽しく学校に通っている。



アンケートの結果をもとに、学習指導や生活指導に生かしていきたいと考えております。紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することができません。葛野小学校のホームページでは、全ての項目を掲載しておりますのでご覧ください。

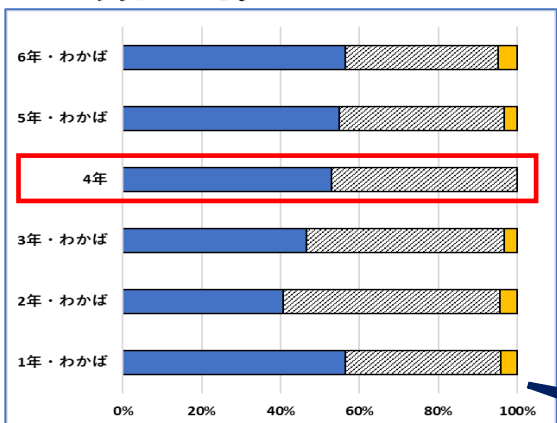
学校が一番大切にしたい項目です。

前期から保護者【-1.6%】児童【-3.8%】

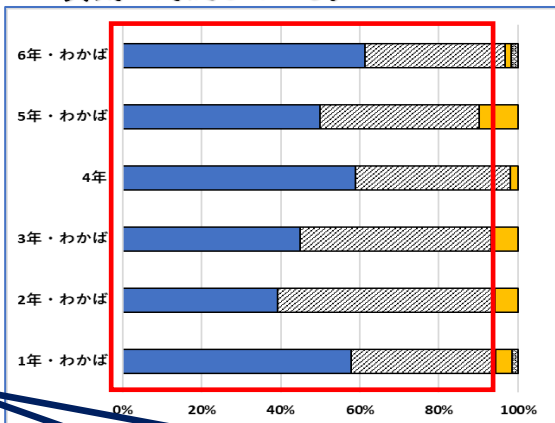
今年度からどの行事も制限なく、全校一斉でできるようになりました。しかし、保護者・児童ともに前期にくらべて結果に落ち込みがみられます。学習も2、3学期になるにつれ、難しくなっているのも数値の落ち込みに影響していると考えられます。行事だけでなく、日々の授業が「わかる」ことの積み重ねが毎日の学校生活が楽しいことにつながります。教職員一同、日々の授業の充実、児童に寄り添った指導をこれまで以上に図っていききたいと思います。

### 『わかる授業』・『子ども理解』について【保護者】

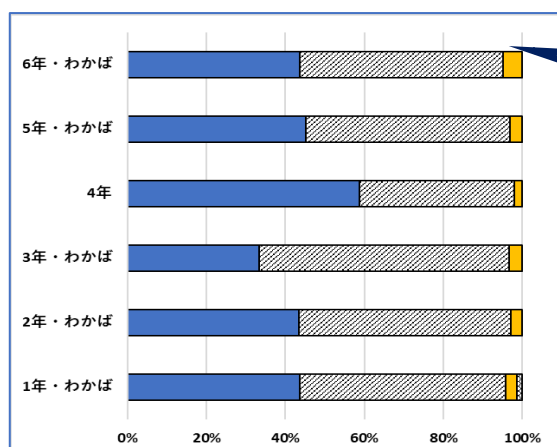
○先生はわかりやすい授業を工夫している。



○先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している。



○学校は、人を大切にする教育に力を入れている。



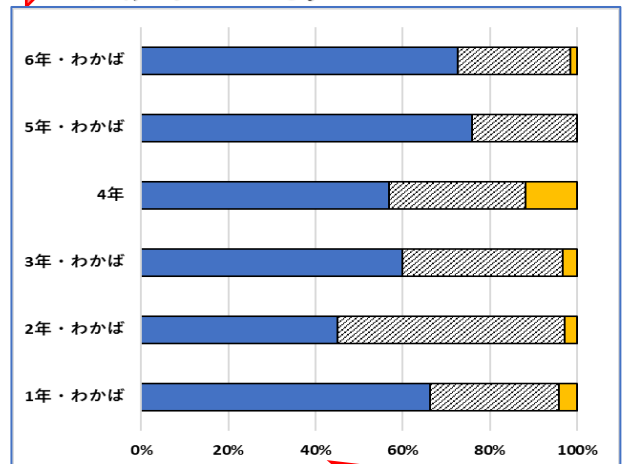
どの項目も前期とくらべて横ばいの結果です。100%の学年もあります。

前期から保護者【+2.4%】

「授業」については「よくあてはまる・ややあてはまる」が90%を越える結果となりました。教職員が指導法の工夫や改善を続けてきた結果だと思っています。また「人を大切にする教育」についても前期より高くなっています。児童の心を耕す活動を大切に、「分かった・できた」を感じられる授業作りを続けていきます。

### 保護者・地域との連携について

○学校のように、学校だよりや学年だよりでよく知らせている。



前期から保護者【-1.8%】

児童の日常の様子をお便りやホームページを通して紹介しています。ぜひご家庭での会話の1つにしてください。また、生活科や総合的な学習で地域の方や施設の方に大変お世話になりました。子どもたちは見学を通して葛野という地域の理解を深めたようです。また、毎週、各クラスからスクリーンを通して配信している時間割などにもホームページのリンクをつけるなどしてよりアクセスしやすい環境を整えていきます。

## 家庭学習・読書の習慣化について

前期から【保護者】【児童】とも落ち込みが見られます。

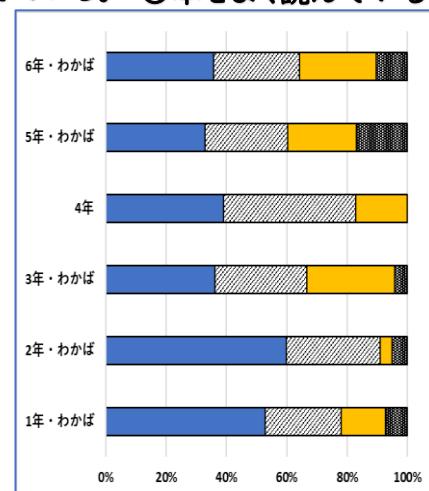
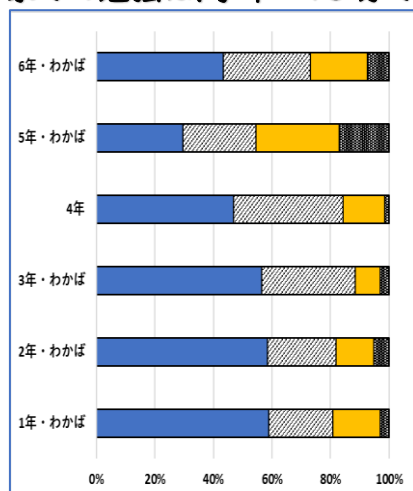
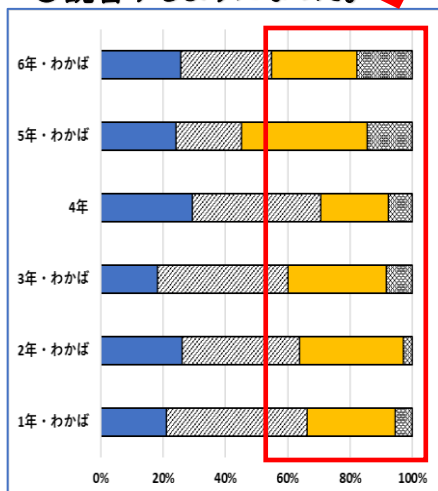
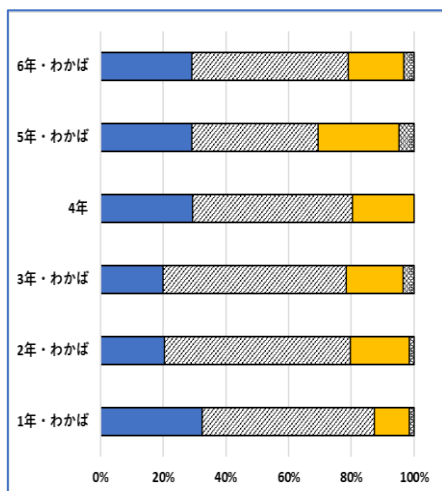
### 【保護者アンケート結果】

前期から保護者【+2.4%】

### 【児童アンケート結果】

○家庭学習の習慣が身についた。○読書するようになった。

○家での勉強は、学年×15分できている。○本をよく読んでいる。



家庭学習については、内容について児童がしたいと思えるものにしなければなりません。特に学年が上がるにしたがって自分で課題を見つけ学習をすすめていく「自主学習」が重要となってきます。GIGA 端末の活用と連動させて、どのような自主学習ができるのかを児童同士が学び合える場を設定していきたいとします。毎年、葛野校の課題としてあがっている「読書」については、全学年を通して前期より改善が見られます。15%近く上がっている学年もあります。どのような取り組みをしているのか、学校全体で共有し、児童が自ら活字に触れる機会をつくっていききたいと考えています。

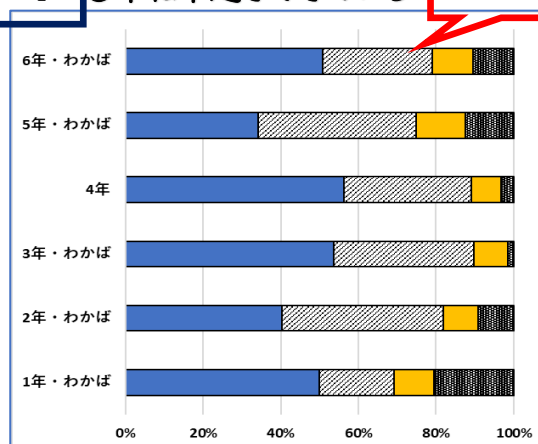
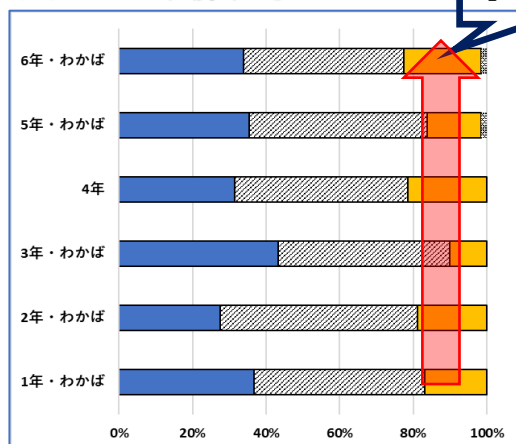
## 生活習慣について

### 【保護者アンケート結果】

○子どもに早寝早起きさせている。【-2.8%】

### 【児童アンケート結果】

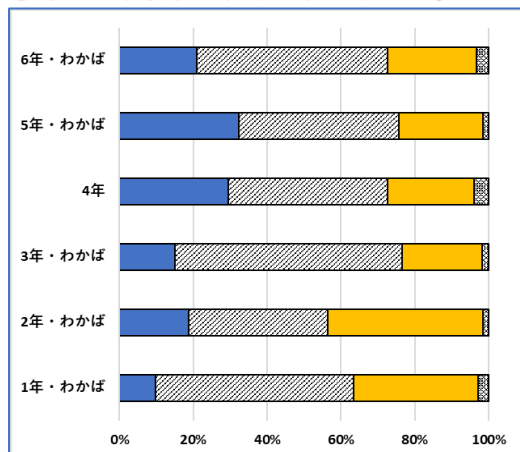
○早ね早起きできている 【+0.7%】



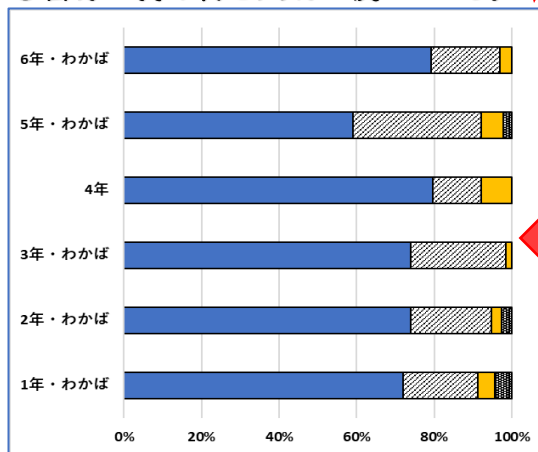
生活リズムについては例年、学年が上がるにつれ乱れがちになっていますが、後期アンケートでは、どの学年も似た結果になっています。また、ものを大切にすることについても保護者と児童の間で結果に差があることが分かります。児童アンケートでは、「自分で判断し、行動している。」と答えた児童が90%おり、前期より高い数値になっています。その力を生活リズムを整えたり、ものを大切にしたり、スリッパをそろえるなど「自分も他人も大切にする」行動へとつなげていってほしいと考えています。

前期より【+2.3%】多くの場面にかすことができま

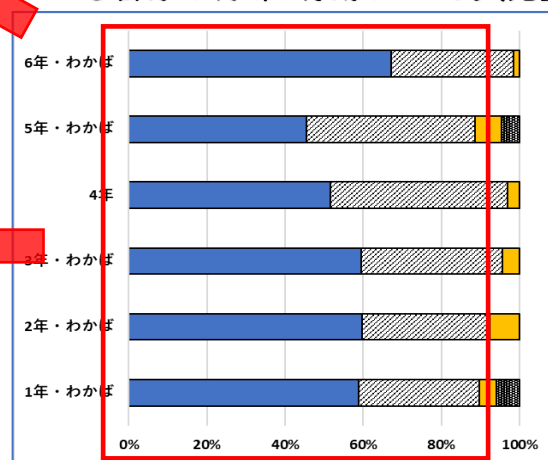
○ものを大切にできるようになった。



○自分の持ち物を大切に使っている。



○自分で判断し行動している。(児童)



## 来年度に向けて【今後の展望】

### 【一人ひとりの学力を高める】

- ◆日常の学びが実生活につながることを児童が実感できるよう、より一層授業改善に取り組みます。
- ◆教科担任、授業交換を行い、学校、学年全体で児童の力を伸ばしていきます。
- ◆家庭学習の習慣形成のため、ご家庭との連携を密に行い、より意欲的に学びに向かうことができるよう働きかけていきます。
- ◆GIGA 端末を積極的に活用し、多様な方法で学びを深めていくと同時に、人と出会う、本物に出会う機会も大切にしていきます。

### 【人を大切にする子ども】

- ◆望ましい生活習慣形成のため、大人が手本を示していきます。そして、児童が自身の行動をマネジメントするだけでなく、振り返る機会を設定していきます。
- ◆クラス間、学年間での交流を積極的に行うことを通して、自分も他人も大切にできる態度を育成していきます。
- ◆児童の思いに寄り添い、心の通った指導を行い、課題の早期発見、解決につなげます。また、多くの教職員が関り、児童理解を図っていきます。